

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
1	39、40、41、	現状、これまでの取組、施策の方向性、指標の設定	障がい児・者	施策の事業により、福祉サービス利用者のかかりつけ医を持つ割合が増加してうれしい限りです。我が子は自閉症で感覚過敏やこだわりがあり、年少まで歯科を受診することができませんでした。年中で出会った障がい歯科の先生のおかげで、歯科がこわいなくなり、ムシ歯の治療ができるまでになりました。障がいがある場合、幼少のうちにこわいを取りのぞいてあげないと、自然に行けるようになる、受診できるはないので、障がい児によりそって下さる障がい歯科がもっともっと増えてくれることを願っています。かかりつけ医を持っている割合100%を目指して。	D:その他・感想等	障がいのある人が歯や口のことで困ることがないように、かかりつけ歯科医を持つことの周知や歯科受診しやすい環境づくりに努めます。
2	61, 62	市民の取組	かかりつけ歯科医とは	「痛くなった時にいつも行く歯医者さん」ではなく、「痛くならないように、定期メンテナンスへ行く歯医者さん」として認識できるようにする。	B:計画に登載済	御意見いただいたとおり、かかりつけ歯科医とは、痛くなったときにかかる歯科医院ではなく、痛くならないように定期的にかかる歯科医院として認識していただくことが重要です。かかりつけ歯科医の定義を「歯が痛くなった時に一時的に通院するのではなく、むし歯や歯周病などを予防することを目的に、年に1回以上定期的に通院する歯科医院のことを指します。ちょっとした歯と口の不安や疑問点など何でも相談でき、歯科治療だけでなく、予防処置をしてもらうほか、自身の歯と口にあった歯みがきの仕方などを教えてもらいます。」と決めました。今後、周知に努めていきます。
3	33、35	これまでの取組、指標の設定	歯っぴースマイル体操	でん伝体操と一緒に行われることが多いようですが、知名度はそれほど高くないので、もっと広めてオーラルフレイル予防に活用したら良いと思います。	C:今後の取組の参考とする	御意見いただいたとおり、知名度が低い状況にあるため、今後さらに活用いただけるよう、オーラルフレイル予防として市ホームページやSNS等を通じて広く周知していきます。
4	29	課題、施策の方向性		子どもと高齢者の対策は十分に考えられていますが、成人期の口腔ケアにもフォーカスをあててもよいのではと思います。	C:今後の取組の参考とする	御指摘のとおり、成人期に対する歯科保健施策の拡充が課題となっているため、事業所における歯科健診、歯科保健指導のあり方を含めて検討し、取組しやすい環境の構築に取り組んでいきます。
5	17・18・21・22	現状・課題・施策の方向性・指標の設定		かかりつけ歯科医を持ち、定期的なメンテナンスが必要と感じます。そのため学童時期からの教育が大切になってくると思います。	B:計画に登載済	御指摘のとおり、学童期からの歯と口の健康教育が重要だと感じています。歯科健診のみならず、歯科保健指導を充実させられるよう学校歯科医をはじめ、養護教諭等との連携を深めていきます。
6	48	施策の方向性		最近では病院内に歯科を設置することで、入院中の患者さんの口腔内環境も改善してきていると感じます。このような働きをもっとすすめていってほしいと思います。	D:その他・感想等	御意見いただいたとおり、院内に歯科がない病院に関しては、入院患者が訪問による治療やケアが受けられる体制が整えられるよう歯科医師会等関係者と協働して働きかけていきたいと思っています。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パフコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
7	39～42	障がい児・者		うがいができない方がいて、どの様にしたらよいか対応に困る。	D:その他・感想等	うがいの行動のどのができないかによって対応が変わってきます。障害者歯科保健センターにご相談ください。
8	—	—	計画・施策	サービス・イベントなど企画が素晴らしいと思います。これから実施していくと思うのですが、ぜひこれが行われていることを知っていただけるよう「広報」と「啓発」の方法を考えていければと思います。情報があふれ生活が多様化しているので、従前の広報では一律に皆に伝わりにくくなっていると思います。ぜひ良い方向にしていいただければと思っております。	C:今後の取組の参考とする	御指摘のとおり、市民の皆様にこの計画を知っていただけるよう広報活動にも力を入れていきます。
9	27.34.35.36	現状、課題、施策の方向性、指標の設定、コラム	オーラルフレイル	この言葉を知りませんでした。この病気になる前、病院に行くほどではないと感じる時が大事だと思います。身体のように口腔も無料検診などあるとより周知されると思う。（決まった月齢の方）健康を左右する大事な口の中です。	B:計画に登載済	40歳の方を対象に行っている歯ピカ検診等様々な機会をとらえ周知していきます。
10	39～42	障がい児・者	障害歯科	静岡市は「歯と口の健康支援センター」のように障害歯科の専門性がある素晴らしい市です。でも障害のある家庭は、そのあたりまえ。知らない家庭（障害者のいない家庭）があります。このような意見を聞く資料でももっとアピールするべきだと思う。	C:今後の取組の参考とする	障がいのある人の関係機関だけでなく、広く市民に周知するよう努めます。
11	18、36	コラム	施策の体系	フッ化物洗口法によるむし歯予防や、オーラルフレイル対策については知識がないので、学ぶ機会があると良いと思います。	C:今後の取組の参考とする	コロナ禍を踏まえ、講演会の開催等広く周知する方法を検討します。
12	24～31	成人期	現状から見えた課題③	定期的な歯科受診を行う為の通院や費用面の確保が難しい為、そこへの対策を打ち出して頂きたい。	D:その他・感想等	歯周病検診の拡充や職域における口腔保健促進事業を通じて歯と口の重要性を伝えるとともに、かかりつけ歯科医の定着が進むよう周知啓発してまいります。
13	39～42	障がい児・者	歯科受診について	障害のある児童（特に自閉症児）が受診がスムーズにできる歯医者さんを増やしてほしい。（かかりつけ）すすめられた一覧（黒丸をつけたところ）の医者についても対応が難しい様子だと保護者よりきいています。又は、歯と口の健康支援センターで受け入れられる児童の受診数を増やして下さい。	C:今後の取組の参考とする	障がいのある人が安心して歯科受診ができることを目指して、歯科医療従事者側も障がい理解を深め障がい者歯科登録医が増えるよう働きかけることと、地域の歯科医院と障害者歯科保健センターとの連携を更に図っていくよう努めます。
14	29、34	課題、施策の方向性	オーラルフレイル	初めて聞いた事だったので職場は児童対象な為あまり関係がないかもしれないが、私的にはとても興味があり、知っておきたいと感じた。	D:その他・感想等	今後、オーラルフレイル予防として市ホームページやSNS等を通じて広く周知していきます。また、コロナ禍を踏まえた講演会も開催していきます。
15	41	行政の取組	障害児・者などに対する取組み	毎年障害者歯科保健センターより通知をいただき、とても丁寧に対応して下さります。なので、毎年歯科保健活動を申し込み出来とてもありがたいです！	D:その他・感想等	すべてのライフステージで歯と口の健康の大切さを伝えられるよう事業に取り組んでいきます。
16	9～13	現状、課題、施策の方向性、指標の設定	乳歯のむし歯について	添付資料で見ると、乳歯むし歯対策はほぼ成功したと言っていいと思います。残るはむし歯多発児が少数いるということで、ポピュレーションアプローチと平行して多発児にピンポイントな対策・事業を考えても良いと思います。何か妙案はありませんか。でも、過去にあった乳歯むし歯の洪水と言われた時代は「克服できた！」と計画に大きく書いてもいいと思います。	C:今後の取組の参考とする	御意見いただいたとおり、乳歯のむし歯は著しく減少しており、乳歯むし歯が多かった時代からは脱却できたと思います。むし歯多発児への対策については、歯科的な問題だけでなく他の問題がある場合が多いと感じているため、保健師をはじめ多職種と連携した働きかけを検討していきます。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ <small>(パブコメ用冊子)</small>	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
17	16～18, 20～22	現状、課題、施策の方向性・指標の設定	むし歯未完了者について	指標の設定・課題にむし歯未完了者の記載がありますが不要に思います。計画にはむし歯未完了者への対策が明確に書かれていませんが、単純に考えると治療を促進することのように思われます。しかしながらこの時期は「むし歯の好発期」であって、一年に一度ある学校歯科健診の間の一年間にむし歯をつくった子がむし歯処置未完了者になります。学校現場では、検診でむし歯が見つかったら治療勧告が出され、現状ではほとんどが治療されているように思います。（治療勧告に従わない子が多いようだったら問題です…対策がいます）もしむし歯処置未完了者を減少させようとするならば、必要（有効）な対策は予防対策です。フッ素洗口などでむし歯の発生をへらしたらこの値を減少させることができます。このロジックはちょっと考えないと分かりにくいので、誤解を招きやすいが故に、あえて書かない方が良くと思います。（それでないと治療勧告をしている現場の養護教諭がかわいそう…）	B:計画に登載済	御指摘の「むし歯処置未完了者の割合」ですが、状況を見える化するために指標として採用します。むし歯は、一度できたら治療しないと治らない病気であり、痛みが出るだけでなく、食べることや話すことなど健康で豊かな生活を送る上で様々な影響を及ぼします。それらのことを児童生徒に理解してもらうためには歯科健診だけでなく、学校歯科医をはじめとした歯科専門職による歯の健康教育やフッ化物洗口の実施が重要であると考えております。歯の健康教育やフッ化物洗口を推進し、むし歯処置未完了者の割合の減少に努めます。
18	16～23	課題、施策の方向性、指標の設定	フッ素洗口の普及について	この時期は「むし歯の好発期」です。むし歯を予防する対策としてはもちろんのこと、上述したように、むし歯未完了者を減少させることにもなります。予防対策の中でもフッ素洗口はむし歯を半減させる力を持った優れた予防法です。小学校だけでなく中学校、できれば高校においても（むし歯好発期の間は）実施すべきと思います。もっと強い表現で本計画に書き入れてもいいのではないのでしょうか。	B:計画に登載済	生涯にわたってむし歯のない口腔内環境を作っていくためには、乳幼児のみならず、小学校中学校においても集団フッ化物洗口を実施することが必要だと考えております。現状、小学校における実施率は低く、中学校においては実施校がないため、「フッ化物洗口モデル推進校」として関係者や保護者の理解を深めることにより実施に繋がっていきます。
19	24～31	成人期	歯周病検診について	健診事業は、○検診 と ○その後の指導や処置 で成り立っています。歯周病健診について、まず ○検診の部分ですが、受診率は高くありません。（本計画の「指標の設定」では爛漫計画のアンケート調査から取られており、そこそこの高値になっていますが、一般的にはずっと低いと思いがすが…）検診が地域診断です。正しく現状を捉えて、対策の必要性・効果などを知れる大切な役割を果たします。また ○指導・処置 は、受診時に行われていると思いますが、充分に行われているのでしょうか。乳幼児歯科健診などは受診率が高い集団検診ですから、両者がしっかり機能していますが、歯周病健診は違います。○検診 は受診率の低さから正しい現状の把握ができていません。本計画に使われている数値もおそらくそう正確なものではないと思います。全数調査が無理と分かっているなら、歯周病健診を無作為抽出にして、何年かに一度、年齢も絞って、予算内でできる検診に変えるべきと思います。○指導・処置 については ○検診 と切り離して、処置能力のある診療所に協力してもらい、多数の歯周病患者に対処できる歯科医師会に協力してもらいなどの方法もあると思います。受診率の向上が課題として上げられていますが、健診方法を変えることも検討して下さい。いずれにせよ行政がおこなうべきは、正確な地域歯周病診断をすることにより、静岡市から歯周病がなくなるの見守っていくことだと思います。	D:その他・感想等	健診後の歯科保健指導が重要であることは認識しております。健診の実施方法や地域診断の方法については参考といたします。
20	29、34	課題、施策の方向性	オーラルフレイルについて	オーラルフレイルの記載は本計画には不適とします。日本歯科医師会が8020運動に代えて打ち出してきたのがオーラルフレイルですが、これはフレイルの前段階に当たります。ですからフレイル対策の一環として行うのが普通で、オーラルフレイルとして切り離して扱う意味が不明です。勿論、歯科分野のことなのでその部分は当然担当すべきですが、歯科単独ではほとんど意味がありません。それよりもなによりも、日歯の「歯科の私達も全身の健康に寄与しています」といういじましい態度は、切なくもあります。またこれは日歯の一戦略でもあるでしょうし、それは日歯でやってもらったらいことです。市の歯科保健現場では「お手伝い」程度に関わっておくのがいいのではないですか。歯科は歯科で、フッ素洗口の拡大など、行政がやるべきもっと大切な仕事があります。	D:その他・感想等	普及啓発を含め歯科医師会と連携し、取り組んでいきます。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
21	—	—	成人期のむし歯や根面むし歯について	行政が実施できるむし歯予防法として、世界各国で広く行われている「水道水フッ化物」があります。この時期のむし歯対策は、本計画にあまり記載がありません。そのためではありませんが、せっかくこのような優れた予防方法が存在するのですから、将来を見据えてそろそろ検討課題に加える時期かと思えます。	D:その他・感想等	現在、取り組む予定はありませんが、水道水フッ化物はむし歯予防に有効ですので、将来的な取組の参考とさせていただきます。
22	50～51	特徴、現状、施策の方向性	災害時の歯科保健医療提供について	歯の健康に対する意識が災害時には低くなりがちだと思います。普段の防災訓練のときにも周知しようと思えます。	D:その他・感想等	災害時は、お口のケアが後回しにされがちですが、ケアを怠った口の中は細菌が繁殖し、誤嚥性肺炎を引き起こす原因となります。誤嚥性肺炎は、命にも関わる恐ろしい病気です。「歯ブラシ1本で救える命がある」ことを今後も啓発していきます。防災訓練等を通じて周りの方へのお声掛けをぜひお願いします。
23	全体	—	全体的に	文章を読むことが苦手な読字障害等のあるお子さんや高齢者などでも読みやすい標記の文章だと伝えやすくて良いと感じました。	C:今後の取組の参考とする	誰もが理解しやすい周知方法となるよう、発行する書類や通信の表現に配慮していきます。
24	16～23	課題・施策の方向性・指標の設定	フッ化物洗口法によるむし歯予防事業	乳幼児期にはフッ化物洗口を実施しているこども園・保育園・幼保園が7割を超えているが、学童期に入るとその割合が一気に減ってしまうので、継続して定着できる取組みをしてほしい。	B:計画に登載済	生涯にわたってむし歯のない口腔内環境を作っていくためには、乳幼児のみならず、小中学校においても集団フッ化物洗口を実施することが必要だと考えております。現状、小学校における実施率は低く、中学校においては実施校がないため、「フッ化物洗口推進モデル校」を募り、関係者や保護者の理解を深めるほか、実施にあたっての課題を抽出・共有することにより実施を拡大していきます。
25	29、30	課題、指標の設定	成人期への取組み	定期的に歯科健診を受けている者の割合が低く対策が必要と記載されているが、その課題に対する取組み案がない。	B:計画に登載済	歯周病検診の対象外である40歳未満の若い世代に対しての働きかけとして、中小規模の事業所を対象とした、職域への口腔保健促進事業（歯科医師及び歯科衛生士による歯科健診・歯科保健指導）を実施します。 歯の喪失が始まる40歳以上の方には、歯周病検診を実施していますが、認知度が低い現状にあるため、周知を強化していきます。
26	39～42	—	障害者への取組み	障害のある方も希望があれば在宅で歯科診療が受けられるように支援してほしい。	C:今後の取組の参考とする	歯科医院へ通院することが困難な方を対象とした訪問歯科診療支援事業がありますのでご相談ください。また、障がいのある人も本事業の対象となることの周知にも努めます。
27	—	—	—	今年はコロナウイルスの影響で受診控えをした人もあったかと思えます。安心・安全に受診してもらう為の知識も広めて下さい。	C:今後の取組の参考とする	御意見いただいたとおり、安心・安全に受診いただけるよう知識の普及に努めていきます。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
28	29	課題	現状から見えた課題③	子どもの頃は親が歯医者を受診をさせてくれますが、大人になると自分自身の管理になってしまう為、歯科受診（健診）を受ける人が少ないしそのままにしてしまう人が多い。具体的な取り組みが必要だと思います。	C:今後の取組の参考とする	御指摘のとおり、法律で義務付けられている歯科健診は高校までとなっており、高校卒業後は、自主的に受診する必要がありますが、1年に1回以上歯科健診を受けている成人期の割合は他の年齢を比較すると低い状況です。かかりつけ歯科医を持つことの重要性を啓発していくとともに、次年度から実施予定の中小規模の事業所を対象とした、職域への口腔保健促進事業（歯科医師及び歯科衛生士による歯科健診・歯科保健指導）を通して具体的な取組を検討していきます。
29	29	施策の方向性	トリプル健診	歯周病健診が大変重要と思います。がんや特定健診と合わせて健診を定期的に行えるような仕組みが良いと思います。	B:計画に登載済	歯周病検診を受診しやすい環境整備として、がん検診や特定健診など他の健診と一緒に受けられる仕組みづくりに力を入れていきます。
30	—	—	ICTの活用	若い世代にはあたりまえのICTを上手に活用して普及啓発を行っていただきたい。	C:今後の取組の参考とする	ICTを積極的に活用し、歯と口の健康を身近なものとして感じ、自主的な取組に繋がるよう働きかけていきます。
31	48	入院患者「○特徴・○課題」	どんなときも（脳梗塞モデルなど）	人生のライフイベントで脳梗塞などのモデルを考慮したとき、入院⇒急性期⇒回復期⇒施設・在宅などの場面での口腔ケアや歯科医療を促進できる体制づくりも検討したらよいと思います。	A:計画に反映させる	下記のとおり計画に追記します。 ○特徴「・退院後も（感染性心内膜炎や顎骨壊死など）歯や口に関連する合併症のリスクを下げるためには医科・歯科・薬科の連携が大切です。」 ○課題「・退院後も入院の原因となった病気の状態に配慮した口腔管理をかかりつけ歯科で受けるために、環境の整備が必要です。」
32	43～45	現状、これまでの取組、課題、施策の方向性、指標の設定、行政の取組	高齢で口腔ケアの拒否がみられる	定期的に歯科訪問は受けているが、日々のハブラシをいやがり衛生を保てていない。そういった場合の対応方法と施設職員、家族が出来るブラッシング方法を知りたい。	D:その他・感想等	歯みがきを嫌がる理由は様々ですので、その理由を把握し対応する必要があります。かかりつけ歯科医にご相談するのが良いと思います。その他にも、事業所職員対象の歯科保健研修会や事業所での歯科保健活動事業にて個々に応じたブラッシング方法をお伝えしていますのでご利用ください。
33	39～42	障がい児・者	感覚過敏のある方への対応	どういった工程をふんでブラッシングまでたどりつけるのか様々な方法を知りたい。	D:その他・感想等	歯科保健に関する相談は随時受け付けていますのでご連絡ください。また、事業所職員対象の歯科保健研修会を実施しており、研修会の中で、歯みがき行動の獲得について等も説明していますのでぜひご参加ください。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
34	39～42	障がい児・者		障害（知的）のある息子が20歳をこえて、歯こうがつくようになり歯周病対応の必要をすごく感じています。半年に1回の受診でしたが、毎月1回受診して歯石を取っています。毎月受診推進がよいと思います。	D:その他・感想等	かかりつけ歯科医をもち個々に合った受診間隔で継続的に受診していただくことが歯や口の健康につながりますので、かかりつけ歯科医への定期受診の周知に努めたいと思います。
35	23	ミニコラム「セルフケア」		歯みがき粉の種類が多くてどれを選んでよいかかわからない。フッ素の含有量の目安とか分かると選びやすいと思います。みがき方やみがく回数、いつみがく等知っている様で知らないかも。	A:計画に反映させる	現在、市販されている歯みがき剤の9割は、むし歯予防に効果があるフッ化物が含有されています。利用方法については、コラムに記載したいと思います。
36	44・45	行政の取組		歯科医に行きたくても行けないひとがいると思います。移動歯医者さん（指導だけでなく簡単な治療までしてくれると助かる人もいるかもしれないので）があると良いと思います。	B:計画に登載済	静岡市では、通院することが困難な方を対象とした訪問歯科診療支援事業を行っています。歯の治療や入れ歯の調整、口腔ケアなどに対応しています。
37	63	市民を支える関係者の取組	計画の特徴「その4」及び市民の取組を支える体制	歯をみれば、その人の置かれている状況がおおよそ分かる。歯がない人は治療に行く時間が無いか、健康上行くことが出来ないじょうたいで生活しているのではないか。あるいは、住んでいる地域に歯科医院が存在しないのではないか、とか色々考えられる。実質郊外や過疎地域には歯科医院が無いに等しい。歯が無いと認知症のリスクが高くなるとも言われている。口腔環境が老人の全身的な健康と密接に関係していると思う。そのためには在宅ケアマネジャーや地域包括支援センターなどの協力体制を強化し、協働をもって郊外や過疎地域に歯科医院を増やすか、訪問歯科診療と居宅療養管理指導をして頂く医院・歯科衛生士・看護師等を配置し、相談や支援を行えるよう取り組んで欲しい。	C:今後の取組の参考とする	訪問歯科診療を行っている歯科診療所は増加傾向にありますが、全体数で見るとまだ少なく、また、地域単位でもばらつきがあります。市の訪問歯科診療支援事業を継続しながら、訪問歯科診療のみならず、相談や支援を充実していけるよう歯科医師会と協働し、取り組んでいきます。
38	—	—	ないです。	ないです。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
39	40、42	これまでの取組、施策の方向性、行政の取組	2	障害児・者の歯科専門医が増えることを望みます。	D:その他・感想等	障がいのある人が安心して歯科受診ができることを目指して、歯科医療従事者側も障がい理解を深め障がい者歯科登録医が増えるよう働きかけることと、地域の歯科医院と障害者歯科保健センターとの連携を更に図っていくよう努めます。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
40	29、33	これまでの取組、課題、施策の方向性		8020運動を進めていくにあたり、大人の歯科受診を推進する為にも、特定年齢者の健診（歯科健診）を無料又はクーポン券を配布してはどうか。	B:計画に登載済	御意見いただいたとおり、「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という「8020運動」の推進にあたっては、失う歯をできるだけ減らすために定期的に歯科健診を受けていただくことが重要です。過去の健診結果から40歳以降に歯を失う人が増えることがわかっているため、静岡市では40歳以上の市民を対象に年に1回最大600円で受けられる「歯周病検診」を実施しています。その導入として、年度内に40歳になる方には無料で検診を受けられるよう受診券を送付しています。なお、歯周病検診という名称ですが、歯周病検査のほか、むし歯の有無やかみ合わせなどの確認も行います。検診の認知度や受診率が低いのが課題であるため、工夫しながら積極的な周知を図っていきたいと思います。
41	29、30、31	課題、施策の方向性、指標の設定、行政の取組		忙しく仕事をしていると、自分の健康についておろそかになりがち。口腔の健康は、健康維持にはかせないことなのに、痛みがないと歯科健診を後回しにしてしまう為、歯科健診事業を促進する為にも、気軽に行けるよう、クーポン券等で助成していただければと思います。	B:計画に登載済	過去の健診データから歯を失う人が増え始める40歳になる方を対象に無料で歯周病検診が受けられる「歯ピカ検診」の受診券を送付していますが、受診率は5%程度と非常に低い状況です。ご指摘のとおり、自身の健康への関心度や優先順位が低いことが考えられます。歯を失う前に歯と口の健康の重要性について意識を高めていただけるよう周知啓発に力を入れていきたいと思います。
42	39～42	障がい児・者	だれでも（障がい等あっても）	毎年無料で歯科検診、歯科保健活動に来ていただき、大変感謝しています。本人はもちろん、保護者の皆様にも歯の健康に対する意識が定着してきました。職員もその都度わからないことを質問でき、日々の支援に役立てることができています。今後もぜひ継続をお願いします。	C:今後の取組の参考とする	かかりつけ歯科医をもつ人が増えることにつながるよう今後も事業所歯科健診・歯科保健活動事業に取り組んでいきます。
43	40、41	施策の方向性、行政の取組	計画の特徴	支援センターみらいでは、利用されているほとんどの方が成人の方になりますが、成人になってからですと中々歯の問題についてははなしが入りにくい傾向が見受けられます。そのため乳幼児期からご両親も含めた家族教室が重要かと思われる。特に障がいがある方のご両親は、どのように歯みがきを教えれば子どもが理解してくれるのかという点で悩まれている方もいらっしゃるのではと思います。その点にアプローチして頂けますと家族支援にもつながりますし、より障がいがある方の歯の健康につながっていくのではないのでしょうか。どうぞよろしくお願いいたします。	C:今後の取組の参考とする	乳幼児期からの歯科保健の重要性が周知できるよう、保健福祉センターで実施している発達フォローアップ教室や児童発達支援事業所等でご家族に歯や口の健康についての講話等の家族支援も行っていますので、引き続き取り組んでいきます。
44	6	基本方針	基本方針（2）について	治療が受けづらい方にも受診する機会があたえられることはとても良い事だと思います。	B:計画に登載済	置かれている状況に関わらず「だれでも」歯科医療や歯科保健指導が受けられる環境整備に努めていきたいと思います。
45	9～38	基本方針（1）	基本方針（1）について	あらゆる年齢に対応した歯科治療計画は素晴らしいと思います。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
46	14	行政の取組	施策の体系（案）	こども園での歯みがき巡回指導、フッ化物洗口法は、子どもたちの歯みがきやむし歯に対する意識が芽生えとてもいい施策だと思う。保護者の中にはむし歯に対して意識の低い人もいるので、巡回指導の時に保護者向けに「歯と口の健康づくり」を推進するようなパンフレットなどを作ってみたらどうか。	C:今後の取組の参考とする	現在、歯みがき巡回指導時には、「子どもの歯と口の健康づくり」に関するリーフレットを保護者向けにお渡ししています。御意見いただいたとおり、保護者自身の歯と口の健康づくりにも関心を持ってもらえるような内容のものについて作成を検討します。
47	40	施策の方向性	施策の体系（案）	特別な配慮が必要な児が通える歯科医をリストアップしてこども園に紹介してほしい。	C:今後の取組の参考とする	特別な配慮が必要な児が通える歯科医一覧表はすでに作成しているため、こども園等にも御紹介したいと思います。
48	9, 14	現状	静岡市歯と口腔の健康づくり推進計画	3～5歳児のむし歯有病者率がH22より年々減少している。こども園ではフッ素洗口を行ったり、年2回の歯科検診を行っていることで、子どもが保護者の歯に対する意識が高まっているので、大人の（全体の）意識も高まると健康長寿が実現できるのでは…	B:計画に登載済	御指摘のとおり、子どものむし歯の減少は保護者の意識が高まっていることも関係していると考えております。生涯を通じて、むし歯や歯周病等で歯を失うことなく、美味しく楽しく安全に口から食べることができる健康長寿のまちを目指し、様々な機会を捉えて、歯と口の健康の重要性、ひいては健康長寿の実現に向けた取組を普及、啓発してまいります。
49	29、56	課題、施策の方向性	かかりつけ歯科医とは歯科医を持っている40～64歳の割合100%	中長期的な構想（2030年）100%を目指すために、事業所において規模を問わず、歯科健診の完全実施（年1回、2年に1回）を行い、すべての人に健康と福祉を保障するスマイルプランを実施すれば良いと思う。	C:今後の取組の参考とする	御指摘のとおり、中長期的な構想の達成には、事業所との連携が不可欠だと認識しております。事業所における歯科健診・歯科保健指導を進め、働き盛り世代の方々に歯と口の健康の重要性を普及啓発してまいります。
50	40～42	施策の方向性、行政の取組	施策の体系（案）	むし歯を含む口腔内の健康について、乳幼児期からの予防は大切であるが、特に障がいを持った子どもたちは、過敏さがあったり、機能的な問題があったりとリスクが大きいように思われる。同じエリア内にある「歯と口の保健医療センター」といこいの家では、以前から連携を取り、職員への歯科講話や通園児の症例検討会を行うことで、職員の意識が変わり、関心が高まったように思う。また、早い時期から歯科のかかりつけ医を持つことが大切であることから、保護者にも勧めることができ、保護者の意識も変わってきたように感じている。私たちは始めのきっかけを作る時期での関わりだが、歯科保健については乳幼児期以降も途切れることなく、学校や事業所等へ移行した後もかかりつけ医との連携が続いていくような環境づくりをお願いしていきたいと思います。	C:今後の取組の参考とする	いつまでも美味しく楽しく安全に口から食べることができるよう、かかりつけ歯科医をもち定期的に受診することを周知し、すべてのライフステージで歯科医療や歯科保健サービスを受けることができるような環境整備に取組みます。
51	—	—	—	特になし	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パフコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
52	29、30、31	施策の方向性、指標の設定、行政の取組	成人期の歯周病健診	40歳の歯ピカ健診だけでなく、30歳、50歳、60歳の節目の歯周病健診の導入をご検討下さい。	B:計画に登載済	歯周病検診は健康増進法に基づき実施をしておりますが、健康増進法では、40、50、60、70歳の節目年齢の方を対象としているのに対し、本市では40歳以上のすべての方が受けられるよう制度を整えております。しかし、御指摘のとおり、「歯ピカ検診」（歯周病検診を無料で受診できる受診券を送付）の対象は40歳のみであること、また、30歳の方は歯周病検診の対象外となっています。今後、各種データの積極的な活用によりエビデンスに基づいた歯科保健施策を展開していく中で、対象年齢や実施形態等について検討を行ってまいります。
53	—	—	—	各年代別での口腔の内容が盛り込まれずばらしいと感じました。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
54	40～42	課題、施策の方向性、行政の取組	—	通所施設になりますが、食事の仕方、食べ方などがしっかりとできていない方がおります。こちらでも食べる速度などお話しさせて頂いておりますが、保護者に向けて発信をしたいのですが、推進課さんの方でお便りなどを頂けると発信しやすいです。よろしくをお願いします。	C:今後の取組の参考とする	安全な食べ方についての情報提供ができるよう、検討します。また、事業所に訪問して食べ方に関して支援する食環境支援事業もありますので障害者歯科保健センターに御相談ください。
55	24～31	成人期	成人期	大人にも子供にもフッ素塗布の利用券が欲しい。あればいいと思います。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
56	29、55～57	現状、課題、施策の方向性、指標の設定	成人期	職場の健診に歯科健診があれば助かります。	B:計画に登載済	事業所における歯科健診・歯科保健指導を進め、働き盛り世代の方々に歯と口の健康の重要性を普及啓発してまいります。
57	24～31	成人期	成人期	小学生までは定期的にフッ素塗布に通いました。大人になってからもフッ素を心掛けた方がいいという事を知らなかった。フッ素塗布は子供が行うものだと思っていました。健診の案内などにフッ素の事が入っているとわかりやすと思います。歯科医院でも大人になってから勧められた事はありませんでした。フッ素塗布利用券などあればいいと思います。	D:その他・感想等	むし歯予防を目的としたフッ化物の応用は歯質が未成熟な中学生くらいまでの時期に行うのが特に効果的だとされてきましたが、近年、成人期・高齢期における有効性も注目されています。フッ化物応用に関する普及啓発をさらに進めてまいります。
58	24、29	現状、課題	成人期	歯周病検診は20歳からにできないでしょうか。歯ぐきに関する症状がある20～29歳の割合が72.6%ならば年齢を引き下げて早い時期から予防に努めて1年に1度は自己流になりがちな歯みがき指導もしていただくと助かります。	C:今後の取組の参考とする	歯周病検診は過去に行われた調査で歯を失い始めるのが40歳頃であることを根拠に、国が開始年齢を40歳として定めています。御指摘のとおり、20歳から歯科健診を行うことは理想的ではありますが、種々の制約があり、早期の実現は難しいですので、まずは当該世代に歯と口の健康の重要性を普及啓発してまいります。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
59	29、55～57	現状、課題、施策の方向性、指標の設定	成人期	勤務先の健診に歯科健診があれば助かります。	B:計画に登載済	事業所における歯科健診・歯科保健指導を進め、働き盛り世代の方々に歯と口の健康の重要性を普及啓発してまいります。
60	56	現状、課題、施策の方向性	成人期	4月から就職するので、職場で健康診断、歯科健診があったらいいです。	B:計画に登載済	令和元年に実施したアンケート調査では、歯科健診を実施している事業所は従業員数49人以内の事業所で1.4%、50人以上の事業所で3.0%とかなり少ない状況にあることがわかりました。企業と連携した取組として、より実施率の低かった中小規模の事業所を対象とした、口腔保健促進事業（歯科医師、歯科衛生士が事業所を訪問して行う歯科健診・歯科保健指導）の実施を予定しています。
61	29、55～57	現状、課題、施策の方向性、指標の設定	成人期	学生までは健診を受ける機会がありますが、卒業すると親が行くように勧めても行かない。大学、企業の健診に歯科健診も入っていた方がいいと思います。	B:計画に登載済	御指摘のとおり、法律で義務付けられている歯科健診は高校までとなり、高校卒業後は、自主的に受診する必要がありますが、1年に1回以上歯科健診を受けている成人期の割合は他の年齢を比較すると低い状況です。かかりつけ歯科医を持つことの重要性を啓発していくとともに企業にも働きかけていきます。
62	26	現状	成人期	フッ素塗布についての紹介・利用の案内など大人向けに発信してほしいと思います。	B:計画に登載済	近年、むし歯予防を目的としたフッ化物応用については成人期・高齢期における有効性も注目されています。フッ化物応用の有効性についてさらに普及啓発を進めてまいります。
63	55～57	現状、課題、施策の方向性、指標の設定	成人期	健康診断に歯科健診があるといい。	B:計画に登載済	事業所における歯科健診・歯科保健指導を進め、働き盛り世代の方々に歯と口の健康の重要性を普及啓発してまいります。
64	27,28,30 33～35	現状、これまでの取組、施策の方向性、指標の設定	第3章乳幼児期から高齢期～取組	「8020運動」は広まっているが、「オーラルフレイル」「歯っぴー☆スマイル体操」は、数以上が認知されていないとの事。それらのアピールをしていったらどうか。	B:計画に登載済	御指摘のとおり、「オーラルフレイル」と「歯っぴー☆スマイル体操」の認知度が低いこと、これらの関係性を含め様々な機会を捉え多方面から周知してまいります。
65	38	低ホスファターゼ症	その他	低ホスファターゼ症はあまり知られていない病気のため、1,6、3歳児健診で案内が必要かと思えます。	A:計画に反映させる	「低ホスファターゼ」の項目に「 <u>1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査等で周知啓発を行ってまいります</u> 」と追記します。
66	全体	グラフ	グラフ	グラフや円グラフの書き方がとても分かりやすかったです。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
67	50～54	災害時		災害時の口腔ケア、とても大切だと思います。	D:その他・感想等	災害時の口腔ケアの重要性、日頃からかかりつけ歯科医を持つておくことの必要性を今後も周知してまいります。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
68	—	—		今後この計画を誰がどのように見守っていくかも大切な事だと思います。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
69	—	—		このような計画ができて市民の為になると思います。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
70	—	—		先を見すえた計画、素晴らしいと思います。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
71	27、29	現状、施策の方向性、指標の設定	オーラルフレイル	市民がオーラルフレイルという言葉を知ってほしいです。	D:その他・感想等	周知に力を入れていきます。
72	—	—		素晴らしい計画だと思います。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
73	29	施策の方向性	歯周病検診	トリプル健診は素晴らしいと思います。これにより受診率が上がってほしいです。	D:その他・感想等	実現に向け、準備、調整を進めていきます。
74	10	現状	むし歯	全国レベルより少ない事は知りませんでした。さらに減らす努力をしてほしいです。	D:その他・感想等	子どものむし歯ゼロを目指して取り組んでいきます。
75	29	課題、施策の方向性	成人期の若い世代への取組	全年齢においての健診をすることが理想だと思います。	D:その他・感想等	世代を問わず、すべての市民が歯と口の健康の重要性を理解し、かかりつけ歯科医で定期的に歯科健診を受診していただけるよう情報発信を行ってまいります。
76	16～23	課題・施策の方向性・指標の設定	フッ素洗口法	市内の幼稚園や保育園のフッ素洗口が定着してきたので、小学校でも出来ないでしょうか？小学校が大変であれば、中学校や高校でのフッ化物の必要性を知らせることが必要だと思います。	B:計画に登載済	生涯にわたってむし歯のない口腔内環境を作っていくためには、乳幼児のみならず、小中学校においても集団フッ化物洗口を実施することが必要だと考えております。現状、小学校における実施率は低く、中学校においては実施校がないため、「フッ化物洗口推進モデル校」を募り、関係者や保護者の理解を深めるほか、実施にあたっての課題を抽出・共有することにより実施を拡大していきます。
77	17、18	これまでの取組・課題・施策の方向性・指標の設定・行政の取組	小中学校歯科保健巡回指導	葵・駿河区で何校、清水で何校と年間決まっていますが抽選から漏れてしまう学校が多いです。（今年度はコロナで少なかった様ですが…）希望がある学校はすべてやってあげたいと思うのですが。	C:今後の取組の参考とする	今後も希望の学校ができるだけ指導を受けられるよう、関係機関と調整を進めてまいります。
78	29	これまでの取組、課題、施策の方向性	歯周病検診	75歳以下でも無料になると受診率もあがり関心もあがると思います。	D:その他・感想等	歯周病検診は現在、70歳以上の方が自己負担なしで受けていただけるようになっています。
79	46、47	現状、課題、施策の方向性、指標の設定	妊婦歯科健診等	少子化の中で妊婦さんへの負担が大きくなるなか、妊婦健診のアプローチを充実させてほしいと考えます。1回の健診で終了するのではなく、要治療になった場合の何らかのサポートをしていくことで、健診率が上がるのではないのでしょうか？	C:今後の取組の参考とする	今後の取組の参考とします。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
80	33～35	これまでの取組、課題、施策の方向性、行政の取組	オーラルフレイル対策	介護度がついてからかかりつけの歯科がなく、施設・病院において、う歯、歯周病、義歯の不具合などで困っている方が多い。まだ元気なうちにかかりつけ歯科を持ってもらう為、公民館などでの講習会などの機会を増やしオーラルフレイルの周知を測ったり、年2回程度の無料検診（50歳以上）を行って頂ければと思います。	C:今後の取組の参考とする	御指摘のとおり、介護度がついている方で、かかりつけ歯科医がなく、歯と口の症状が出た際にどこに相談したらよいかわからず困っていらっしゃる方もいるのではないかと思います。現在、本市では、通院が困難な在宅の方を対象とした訪問歯科診療支援事業を行っています。が、日頃から自身の歯と口の状態を把握し、健康に保つためにかかりつけ歯科医を持つことを推奨していますので、今後も公民館等への出張講座等の機会に周知をしていきます。なお、40歳以上の方は年に1回歯科健診（歯周病検診）を受けていただけるようになっています。
81	40	施策の方向性	障害福祉サービス事業所等でかかりつけ歯科医を持つ項目に対して	重度の障害者に対する治療、予防処置をして頂ける病院（歯科医院）が少なく、行く場のない利用者さんがいます。すべての利用者さんがいつでも利用できるかかりつけ歯科医がもてるよう、病院の情報と受け入れを拡大して頂きたいと思えます。	C:今後の取組の参考とする	かかりつけ歯科医については、静岡市障がい者歯科「登録医」在籍歯科医院一覧表がありますので、ご利用していただきたいと思えます。また、地域の歯科医院と障害者歯科保健センターとの連携を十分に図ることで受診できずに困ることのないような環境整備をしていきます。
82	28	グラフ	施策の体系（案）いつでも（年齢問わず）主な指標（R2⇒R8）	主な指標の中に、何でも食べることができる70～74歳女性の割合とありますが、男性の指標はどのようになっているのでしょうか。男女共に明記されてもよいのかと思いました。	B:計画に登載済	「何でも噛んで食べることができる者の割合」は、男女差が見られたため、男女別に指標を設定しました。80%台から70%台に減少する年齢が、男性は「50～54歳」から「55～59歳」の間、女性は「75歳～79歳」から「80～84歳」の間であったため、男性は50～54歳に設定、女性は70～74歳に設定しています。
83	4、6	スローガン及び基本方針	スローガン及び基本方針	いつでもだれでもどんなときも、ということで障がい児・者についてもライフステージに渡っての取組を行っていただけること、それを前面に出して下さっている事は大変ありがたく存じます。	D:その他・感想等	今後もすべてのライフステージに渡り事業が実施できるよう取組んでいきます。
84	41	行政の取組	「いつでも」の施策	すでに行ってくださっていますが「小学校中学校歯科保健巡回指導」に「特別支援学校」も入れていただければと思えます。	B:計画に登載済	特別支援学校での歯科保健の取組みには今後も学校側に御協力いただき継続していきたくと思えます。
85	39～42	障がい児・者	だれでも施策	障害者歯科診療稼業をこのままずっと続けて下さい。障がいのある子供をもっています。今かかりつけ医でみてもらっていますが、今後私が動けなくなった時是非お願いします。この診療所があることで障がい者が安心していられます。	D:その他・感想等	地域歯科医院や障がいのある人の関係機関と十分に連携を図り、歯や口のことで困ることのない環境を整備していきます。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
86	50～52	現状、課題、指標の設定、行政の取組	どんなときも	「非常時の持ち出し品のハブラシはみがきを持つ」ことのお知らせをして下さい。	B:計画に登載済	令和元年に実施したアンケート調査から「非常持ち出し袋に歯ブラシ等が入っている人の割合」は2割と低い状況です。災害時のお口の衛生状態と誤嚥性肺炎の関係性についてさらなる周知を図り、歯ブラシをはじめ液体はみがき等の衛生用品を準備しておくことの重要性を様々な機会を捉え、お知らせしていきたいと思えます。
87	29	施策の方向性	施策の体系いつでも（成人期）	PTAなどの成人教育の場などで歯と口腔について指導していただけるとありがたいと思えました。	C:今後の取組の参考とする	口腔保健支援センターで対応可能です。活用いただける旨の情報提供を行ってまいります。
88	59	施策の方向性	関係機関との連携強化	「食べること」に関わるので食料品店や飲食店、「口を使う」ことに関連して、カラオケ、舞台・講演施設、ライブ会場などで、広報活動や事業連携があれば、より多くのひとに、歯と口の健康の大切さを訴えられるのではないかと思います。	C:今後の取組の参考とする	御意見いただいたとおり、「食べること」や「口を使うこと」などこれまでの施策から視野を広げ、様々な分野から歯と口の健康の大切さをPRしていきたいと思えます。
89	7, 60	基本方針5	各種データの利活用	どのような利用の仕方をするのか具体的な内容が気になりますが、よりよい施策展開をされることに期待します。	B:計画に登載済	市で実施している健診のデータを集計分析し、施策に活かしていくほか、他自治体及び公的研究機関が実施する調査等を積極的に取り入れ、市民の歯と口の健康づくりに活かしていきます。
90	59,63	関係機関との連携強化・市民を支える関係者の取組	市民を支える関係者の取組み	市民の取組を支える団体が、どのような事を行うか記載がありますが、団体がそれを実現させるために、静岡市側からのバックアップや支援策などがあるか気になりました。	B:計画に登載済	市で実施している健診のデータを集計分析した結果や他自治体及び公的研究機関が実施する調査等を積極的に発信し、団体に対する支援を行ってまいります。
91	29, 55～57	現状、課題、施策の方向性、指標の設定	分野成人期	就職してからは、歯科健診がないので、この計画・施策により、歯と口の健康を保てるようになるとうれしいです。	B:計画に登載済	御指摘のとおり、法律で義務付けられている歯科健診は高校までのため、高校卒業後は、自主的に受診する必要があります。歯と口の健康を保ち、生涯にわたって美味しく楽しく安全に食べるためには、かかりつけ歯科医を持ち、定期的に歯科健診を受けることが重要であるため、企業等と連携し、成人期への働きかけを積極的に行ってまいります。
92	—	—	計画の概要	この計画で一生涯の歯と口の健康を保てるようになることを期待します。	D:その他・感想等	市民の方が生涯にわたり歯と口の健康を維持できるよう働きかけてまいります。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
93	29、55～57	現状、課題、施策の方向性、指標の設定	施策	成人期の若い世代への取組として、高校卒業後から40歳までの間に、歯科対策の空白期間がある。働きかけが難しい世代だとは思いますが、なにかできるとよいと思う。	B:計画に登載済	御指摘のとおり、法律で義務付けられている歯科健診は高校までのため、高校卒業後は、自主的に受診する必要があります。歯と口の健康を保ち、生涯にわたって美味しく楽しく安全に食べるためには、かかりつけ歯科医を持ち、定期的に歯科健診を受けることが重要であるため、企業等と連携し、成人期への働きかけを積極的に行っていきます。
94	29～31	現状、課題、施策の方向性、指標の設定	施策	歯周病検診の受診率が低いので、受けやすい環境整備として他の健診と一緒にするという案はよいと思う。	B:計画に登載済	歯周病検診を受診しやすい環境整備として、特定健診やがん検診など他の健診と一緒に受けられる仕組みづくりに力を入れていきたいと思えます。
95	4	基本理念	基本理念	むし菌じゃない、歯周病でないなど、はの健康がゴールではなく、歯と口が健康なことで健康長寿を目指すという広い視点で掲げられているのが良いと思います、	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
96	17,18,21,22	現状、課題、施策の方向性、指標の設定	学童期思春期の施策	小学生や中学生等への歯科教育について、学校歯科医が歯科健診だけでなく、知識の普及など、もっと積極的に関わると良いと思います。	B:計画に登載済	御意見のとおり、歯科健診と歯科健康教育（歯科保健指導）は車の両輪のような関係であり、双方取り組むことが重要であると考えています。特に一生の生活習慣が決まる時期であり、歯の生え変わり等口腔内の状況が大きく変わる時期でもある学童期・思春期に、適切な口腔衛生習慣を身につけるためには、歯科保健指導を受ける必要があります。このため、養護教諭・学校歯科医等と連携できる環境の構築に努めてまいります。
97	4	スローガン	スローガン	市民にとってわかりやすい目標が掲げられていていいなと思いました。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
98	4	スローガン	スローガン	ずっと自分の歯で食べたいので、歯みがきをがんばろうと思いました。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
99	—	—	推進計画	この推進計画はとても分かりやすいです。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
100	—	—	推進計画	推進計画に基づいてしっかり進めていくことが今後とても大切だと思います。	D:その他・感想等	計画策定後も進行管理をし、基本理念の実現に向けて努めていきます。
101	29,34	課題、施策の方向性	主な指標	オーラルフレイルの認知度が低いので、市民への啓発に力を入れて欲しいです。	B:計画に登載済	市民のオーラルフレイルの実態把握と、オーラルフレイルの知識の普及啓発を目的に令和3年度にアンケート調査を実施予定です。その調査結果をもとに、今後の取組を検討するとともに様々な機会を捉え、啓発していきます。
102	—	—	推進計画	元気であるには、歯が大事ということがわかりました。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
103	—	—	現状から見えた課題	課題がクリアできるよう、市民への周知や施策の取組みをしっかり進められたらよいと思う。	D:その他・感想等	計画策定後は課題解決に向けて、進行管理していきます。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
104	9～23	乳幼児期・学童期・思春期	施策	園や学校によって歯科への取組み方が違うので、平等に受けられる取組みをお願いしたい。	C:今後の取組の参考とする	施設職員や担当する歯科医師（園歯科医・学校歯科医）等の考え方によって取組み方に差が出ることはありますが、全体の資質の向上に向けて働きかけていきたいと思っています。
105	50～54	災害時における歯科保健医療提供体制の整備	災害時	災害はいつ起こるか分かりませんので、早めに体制を整備し、もっと取組みを強化してほしい。	B:計画に登載済	御意見いただいたとおり、いつ発生するかわからない災害に備え、取組を強化していきます。
106	全体	グラフ	グラフ	円グラフのそれぞれに少し隙間が空いているので、色盲のある人にも見やすいように配慮されていると思います。さらにデザインを変える（聞いたことがある＝ドット、聞いた事がない＝無地など）するとより配慮されると思います。	A:計画に反映させる	御意見いただいたとおり、グラフのデザインに配慮し、だれでも見やすいわかりやすい計画となるよう努めます。
107	全体	グラフ・フォント	静岡市の現状	グラフになってわかりやすい。計画冊子全体のフォントも読みやすくまとめられていると思う。	D:その他・感想等	だれでも読みやすいようユニバーサルフォントを使用しています。
108	5	SDG s	中長期的な構想	SDGsも絡んでいてよいと思います。目標が達成されるとよいです。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
109	—	—	施策	多くの事業が考えられていることを知りました。ぜひ進めてほしいと思います。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
110	50～54	災害時における健康被害の予防	災害時	災害時にも歯科の必要性がある事を知りました。	D:その他・感想等	災害時には、水不足や身体精神的な疲れ等からお口のケアが後回しになりがちですが、過去の震災から誤嚥性肺炎やむし歯、歯肉炎、口内炎など様々なトラブルが起こっていることがわかっています。今後より一層周知啓発を図っていききたいと思います。
111	—	—	推進計画	推進計画に基づき、歯科専門職としてできることを行っていきたい。	D:その他・感想等	歯科専門職の方からの御意見心強いです。連携して市民の取組を支えていきましょう。
112	—	—	推進計画	いろんな計画があることがわかりました。歯の健康を大事にしていきたいと思っています。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
113	36	グラフ	静岡市の現状	グラフがとてもわかりやすかった。オーラルフレイルが何なのか知りたいと思った。	D:その他・感想等	オーラルフレイルの詳細については、コラムに掲載するほか、啓発に力を入れていきます。
114	—	—	指標	目標値を達成できるように、歯科専門職として取り組んでいけたらよいと思う。	D:その他・感想等	歯科専門職の方からの御意見心強いです。目標を達成できるよう連携して市民の取組を支えていきましょう。
115	—	—	施策	多くの施策が考えられていることがわかりました。実現してほしいです。	D:その他・感想等	実現に向け、取組を進めていきます。
116	—	—	推進計画	とてもわかりやすくまとめてあり、よいと思います。もっと周知したらよいと思います。	D:その他・感想等	歯と口の健康の重要性について、知っていただき、取り組んでいただけるよう周知していきます。
117	10	現状	現状から見えた課題	静岡市の子どものむし歯は全国的に見ても少ないですね。知らなかったので驚きました。子どもだけでなく、大人になってもむし歯で辛い思いをすることがないように高みを目指していただきたいです。	D:その他・感想等	生涯を通じて歯と口の健康で困ることがないように、計画策定後、きちんと進行管理をし、取組を進めてまいります。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パフコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
118	62	市民の取組「かかりつけ歯科医とは」	計画の特徴	かかりつけ歯科医の定義がきちんとされているのが、市民にとってわかりやすいので、良いと思います。歯科医院側も同じ認識を持っていきたい。	B:計画に登載済	歯が痛くなった時に一時的に通院するのではなく、日頃から定期的に通院し、お口の健康状態を把握しておくことが、生涯にわたる歯と口の健康への近道だと考えております。市民と歯科関係者双方が同じ認識を持っていただけるよう周知していきます。
119	12～14、17～23	現状、これまでの取組、施策の方向性、指標の設定、行政の取組	フッ素洗口事業	フッ素洗口の大切さについて保護者にも伝わり、年中・年長児がほぼ全員実施する状況ができていて、むし歯減少にもつながっていると考えられる。園児だけでなく、どの年齢でも理解を深め利用できるよ。	B:計画に登載済	御意見いただいたとおり、こども園だけでなく、小学校以降でも継続してフッ化物洗口が実施できるよう働きかけていきたいと思っております。
120	16～23	施策の方向性・指標の設定		子供さんの受診について。小～高校生まで当てはまるのですが、課外活動のために受診をあと回しされる方（ファミリー）がみられます。部・クラブの運営者たちに対して児童・生徒の歯科受診に十分な許可？を与えてもらいたい。「本人の問題」たとえば原因なしに生じる病気とはちがうので自分で気を付ける！と言われるかもしれませんし、一理あることは認めますが児童生徒の全身の健康を得るためのチャンスを制限されるのは一種のネグレクトだ。チームにめいわくと言って来ない子が多いよ。	B:計画に登載済	御指摘のとおり、学童期・思春期の時期は部活動等で忙しく、受診が後回しになっている児童生徒もいるかと思っております。学校歯科医をはじめとした歯科専門職による歯科健康教育で、むし歯予防の大切さや治療の必要性を児童生徒本人や保護者、職員等に伝えていきます。
121	40	施策の方向性	基本方針（2）	障害者の施設なので、特別な配慮が必要になります。定期検診はほとんどの利用者ができるようになりましたが、緊急の場合むずかしい時もあります。緊急時の対応がスムーズにできるようにしてほしいです。	C:今後の取組の参考とする	かかりつけ歯科医に定期受診することにより安心安全に歯科診療を受けることにつながり、緊急の場合にも対応できる状況になると思われまます。また、緊急で他院への受診が必要になった場合にはかかりつけ歯科医と連携が取れるような環境整備に務めることと、個々の発達・成長や支援が記録されたサポートファイルなどを受診の際にご提示いただくことを周知していきます。
122	—	—		安心して老後をおくれるように計画して頂いてうれしいです。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
123	50～54	災害時		災害時のケアが心強いです。	D:その他・感想等	災害時の口腔ケアの重要性、日頃からかかりつけ歯科医を持つおくことの必要性を今後も周知していきます。
124	62	かかりつけ歯科医とは		かかりつけ歯科医は本当に大切だと心から思います。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
125	13、17	施策の方向性	フッ化物洗口によるむし歯予防	とても大切なことだと思います。よろしくおねがいします。	D:その他・感想等	小学校以降を含め、実施施設数の拡充に向けて働きかけていきます。
126	30	指標の設定	かかりつけ歯科医を持っている40～64歳100%	あと10年2030年にこれが達成されたらステキです。かかりつけ歯科医は全ての人に大切なことと考えます。	D:その他・感想等	歯と口を健康に保つことの重要性及びかかりつけ歯科医を持つことの必要性について働きかけていきます。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パフコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
127	53	災害時における歯科保健医療提供体制の整備		災害などの事象でも対応できるシステムにして頂けるのは助かります。	D:その他・感想等	災害時においても歯と口の健康や衛生状態を維持できるようシステムを強化するとともに市民や関係団体等に働きかけていきます。
128	59	施策の方向性	施策	施策の中で医歯薬が連携を強化して下さい。	B:計画に登載済	御意見いただいたとおり、医師・歯科医師・薬剤師の連携を強化できるよう、歯科医師会と連携し、医師会・薬剤師会に働きかけをしていきます。
129	—	—		宜しく申し上げます。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
130	31	行政の取組		歯ピカ検診のクリーニング300円を見直してほしい。どこまでやるのか受ける人にもわかりやすく。	C:今後の取組の参考とする	今後も歯科医師会と協議していきます。
131	全体	—		口腔のケアが全身の健康につながるという話をよく聞きます。スローガンの「歯と口の健康」が自分で食べることで元気に豊かにもわかりますが、一方でやはり口腔ケアと全身の健康について子どもの頃から若者にも広くその重要性を周知していくことが必要と思います。そこから症状がある時だけ行く歯科ではなく、健康診断と同様定期的に口の中をチェックしてもらうかかりつけ歯科医につながればいいなと思います。	D:その他・感想等	御意見のとおり、症状があるときに一時的に歯科医院を受診するのではなく、日頃から自身の歯と口の健康状態を把握していただくことが重要だと思います。かかりつけ歯科医を持つ人が増えるよう啓発に力を入れていきます。
132	12～14、17、18	現状、施策の方向性、指標の設定、行政の取組	施策	フッ化物洗口法がたいへん良いと思います。	D:その他・感想等	小学校以降を含め、実施施設数の拡充に向けて働きかけていきます。
133	29、34	課題、施策の方向性	施策	オーラルフレイル対策をもっと具体的をお願いします。	B:計画に登載済	市民のオーラルフレイルの実態把握と、オーラルフレイルの知識の普及啓発を目的に令和3年度にアンケート調査を実施予定です。その調査結果をもとに、今後の取組を検討して参ります。
134	33	これまでの取組	障がい児・者 高齢者	日頃より、障がい児・者の歯と口腔の健康づくりにご尽力頂きありがとうございます。特別支援学校からの教育で、虫歯予防の意識は高まってきていると思います。これから高齢障がい者のQOLを維持するための口腔ケアが大切だと感じています。認知症等の高齢者も同様に思います。障がい者や高齢者に向けた、わかりやすく楽しい口腔体操？のようなものはありますか。ラジオ体操の曲が流れると自然にからだ動くように、口腔体操の曲みたいなのがあるとよいと思います。	D:その他・感想等	静岡市には口腔機能の向上を目指した「歯っぴー☆スマイル体操」があります。障害福祉サービス等事業所での歯科保健活動時に実施し周知に努めています。
135	—	—	全体	口腔健康づくり推進計画をぜひ進めていただきたいと思います。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
136	—	—	全体	大変良いと思います。ぜひ進めて頂きたいと思います。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
137	59	4 持続可能な歯と口の健康づくりの推進のための環境整備・関係機関の連携強化（2）関係機関との連携強化	「静岡市歯と口腔の健康づくり推進計画」への意見	「はつらつスマイルプラン」には「むし歯のない子どもの割合100%を達成するためにはその前提として、全ての子どものむし歯の有無を確認する必要がありますし、また全ての子どもとその保護者が口腔保健の重要性を理解する機会や予防的対応を施すことができるということが必要になると考えられます。すなわち、全ての子どもが何らかの形で口腔保健へのアクセスが可能であることが重要であると思われま。一方近年の日本社会では家庭の経済的格差が子どもの健康や教育に大きな問題となっている事が指摘されており、歯科健診事業に関わっていると口腔保健に関しても同様な状況があると感じられます。経済的余裕のある家庭の子どもは、保護者が口腔保健の重要性を認識し、時間的また経済的余裕があるため歯科医へのアクセスが容易で適切な受診が可能であり、良好な口腔保健状態を得る機会が与えられていますが、経済的に困窮する家庭やひとり親の家庭の子どもは、時間的あるいは経済的な理由から歯科健診などの適切な口腔保健にアクセスする機会が失われ、知らないうちにむし歯などの歯科疾患が進行してしまう事例が多々あるのではないかと懸念しています。ここで問題となるのは、口腔保健の啓発やむし歯などの口腔疾患の早期発見や予防に繋げるといった歯科健診では、家庭の事情などにより健診に参加しない、あるいは参加できないため、歯科疾患への高いリスクがあるような、本来、最も口腔保健の必要とされる子どもたちが、公衆衛生活動の対象から漏れて、置き去りにされる可能性があることです。したがって、このような環境にある子どもたちには、これまでとは異なったアプローチが必要ではないかと思われま。例えば経済的な困窮から家庭で十分な食事が与えられない子どもたちへの食事提供を行っている「こども食堂」に注目してもよいかもしれません。上記のような口腔の公衆衛生事業や活動では捉えきれない子どもたちと、子ども食堂で食事をする子どもたちの集団はかなり重なっていることが予想されることに加え、近年の口腔保健においては、単に歯科口腔疾患の予防や治療といった考えから、栄養学的や生活習慣も含めた食育というアプローチが唱えられており、このような観点から、子ども食堂の活動に口腔保健や食育に関する啓発や指導を行うようなアプローチもありうるのではないかと考えています。「むし歯のない子どもの割合100%を目指す」ためには、歯科専門職や公的機関が主催する事業、活動とともに、口腔衛生活動とは異なる活動を行うNPOなどと協働により、口腔保健を遍く普及させることが期待できるのではと思われま。	A:計画に反映させる	御指摘いただいたとおり、近年課題となっている家庭の経済的格差は子どもの歯と口の健康にも大きく影響を及ぼしていると考えております。従来行ってきた保健福祉センターやこども園等での歯科保健指導に加え、例示いただいた「こども食堂」等、様々な機会や場所に出向き、アプローチしていくことも重要だと認識しております。「子どものむし歯ゼロ」を目指して歯科保健医療関係者だけでなく、口腔衛生活動とは異なる活動を行うNPOなどとの協働も積極的に行っていきたく思いますので、「基本方針4 持続可能な歯と口の健康づくりの推進のための環境整備・関係機関の連携強化」に「施策の方向性」として、下記の文言を追記します。 「 <u>口腔衛生活動とは異なる活動を行うNPOなど（例：こども食堂）との協働も積極的に行います。</u> 」
138	4	基本理念・スローガン	計画の特徴その1	口から食べることの大切さ、ただ長寿だけでは幸せではないことを歯を失うまえに考えてもらいたい。	C:今後の取組の参考とする	御意見のとおり、歯を失う前に考えていただけるよう、啓発に力を入れていきます。
139	24~31	成人期	歯科検診について	歯科検診に来る人が少ないので、特定検診に入れてもらいたい。	D:その他・感想等	特定健康診査に歯科健診を導入することは、現状難しいため、企業と連携した取組として中小規模の事業所を対象とした、口腔保健促進事業（歯科医師、歯科衛生士が事業所を訪問して歯科健診・歯科保健指導）を実施します。歯の喪失が始まる40歳以上の方には、年1回最大600円で受けられる歯周病検診を実施していますが、認知度が低い現状にあるため、周知を強化していきます。
140	62	かかりつけ歯科医とは	かかりつけ医を持つことの重要性	食事は人間にとって大事なもので、普通に食事をするには、自分の歯で噛む事が必須です。その為には定期検診の大切さを広める事が大切だと思います。	D:その他・感想等	御意見いただいたとおり、生涯にわたって、歯と口で美味しく楽しく安全に食事ができるよう歯と口の健康の大切さ、かかりつけ歯科医を持つことの重要性について周知していきます。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
141	29	施策の方向性	特定検診の歯科について	学生を終えると、歯科検診など受ける機会が無くなるので、定期的に受けやすいような、検診などに組み入れていただけたら良いと思います。	C:今後の取組の参考とする	特定健康診査に歯科健診を導入することは、現状難しいため、企業と連携した取組として中小規模の事業所を対象とした、職域への口腔保健促進事業（歯科医師及び歯科衛生士による歯科健診・歯科保健指導）を実施します。 歯の喪失が始まる40歳以上の方には、年1回最大600円で受けられる歯周病検診を実施していますが、認知度が低い現状にあるため、周知を強化していきます。
142	29、56	課題、施策の方向性		高校までは歯科健診はあるが、大学、そして就職（事業所）するとなくなり、自覚症状がない限り歯科に行かなくなるので、歯科健診を特定健診に入れてほしい。	C:今後の取組の参考とする	特定健康診査に歯科健診を導入することは、現状難しいため、企業と連携した取組として中小規模の事業所を対象とした、職域への口腔保健促進事業（歯科医師及び歯科衛生士による歯科健診・歯科保健指導）を実施します。 歯の喪失が始まる40歳以上の方には、年1回最大600円で受けられる歯周病検診を実施していますが、認知度が低い現状にあるため、周知を強化していきます。
143	24～31	成人期		成人の約80%近くが歯周病といわれています。早期発見・早期治療、改善、現状維持する事が大切だと思います。また、糖尿病との関係もいわれています。生涯自分の歯で食事をする事の価値は大変大きいと思います。笑う、話す、咀嚼する大切な器官です。	D:その他・感想等	御意見のとおり、歯と口を健康に保つことで美味しく楽しく安全に食事ができ、また人と話をする、笑うなど健康で豊かな生活を送ることに繋がります。歯と口の健康の重要性について周知啓発に努めます。
144	13	施策の方向性	乳幼児期の施策	小児治療に対応してくれる歯科医院名を具体的にあげるとかかりつけ医院を見つけやすいと思います。	C:今後の取組の参考とする	今後の取組の参考とします。
145	12・14	これまでの取組・行政の取組	妊婦期	母親教室で歯科医師や歯科衛生士からの指導の機会があると必要性が感じられやすいと思う。	B:計画に登載済	フレッシュマタニティ教室では妊婦本人や生まれてくる子どもの歯と口の健康に関する講話を行っております。また、0～6歳未満の未就学児を対象とした「乳幼児むし歯予防教室」事業を（一社）静岡市静岡歯科医師会及び（一社）静岡市清水歯科医師会のご協力のもと、実施しております。こちらの教室では、歯科医師による健診のほか、歯科衛生士による歯科保健指導も行っております。
146	6	施策の体系	施策の体系いつでもだれでもどんなときでも	幅広く明確な目標、施策、指標があげられており分かりやすい。特に小児への対応（教室や予防事業など）が充実しており、口腔の健康づくり習慣に繋がりがやすいと思う。	D:その他・感想等	引き続き、市民の歯と口腔の健康づくり習慣につながる施策を検討してまいります。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
147	22	施策の方向性	施策の体系いつでもだれでもどんなときでも	施策の中に高校生、大学生への対応が見つからないように思う。生活も不規則になりがちなこの世代へのアプローチが必要だと考える。	A:計画に反映させる	御指摘のとおり、大学生への対応が記載されていないため、施策の方向性に記載します。
148	50～52	災害時における健康被害の予防	災害時	地震のリスクの高い静岡で災害の関連死の多くを占める誤嚥性肺炎を減らしていくための取り組みは、特に重要だと感じます。	B:計画に登載済	誤嚥性肺炎予防に口腔ケアが重要であることを市民に啓発するとともに、歯科関係者をはじめ高齢者施設の職員等にも働きかけをしていきます。
149	29	課題		妊婦歯科健診や後期高齢者歯科健診など、公費で健診料の補助が出るのは受診者側の負担が減って良いと思います。公費で行える健診を若い年代（20代～30代）にもあれば、普段意識が低い方も歯医者を受診する良いきっかけになるかと思えます。	C:今後の取組の参考とする	過去の健診データから歯を失う人が増え始めるのが40代であることがわかっていますので、現在は、40歳になる方を対象に無料で歯周病検診が受けられる受診券を送付していますが、受診率は5%程度と低い状況です。若い世代の方の自身の歯と口の健康への関心度や優先順位をあげていくことが課題だと認識しておりますので、取組を検討していきます。
150	22	課題	思春期（13～19歳）	この年頃は、歯科健診の重要性は理解できても、実際に自ら行動に移すのはなかなか難しいと思う。もう少し強制力を持たせ、健診を受けた証明を提出させるなどした方が良いと思う。	C:今後の取組の参考とする	今後の取組の参考にします。
151	22、29	施策の方向性	乳幼児期から高齢期までの歯科疾患の特性に応じた取組	各時期における行政の取組に差がありすぎると思う。乳幼児期、学童期の自分で管理をすることが難しい時期に取組が多いのはとても良いと思う。しかし取組が少なくなっている思春期、成人期には問題があると考え。それらの時期には関心が歯、口腔よりも別のことに行ってしまう人が多い為、口腔内に問題を抱える人が増え、そのまま高齢期に入り、歯を失ってしまう人がよく見受けられるように感じる。そうならない為にも、思春期、成人期で歯、口腔に興味、関心を持ってもらえるよう何か取組ができればとても良いと思う。	C:今後の取組の参考とする	御指摘のとおり、思春期や成人期の時期は、歯と口の健康以外のことに対する優先度が高まる傾向にあると考えています。高校や大学、企業と協働し、興味、関心を持っていただけるような取組を工夫して実施していきたいと思えます。
152	—	—	全体	良い案だと思います。早めに進めて頂けると有難いです	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
153	29	施策の方向性	トリプル健診	歯科と医科の健診が一緒にできるということは今までにないように思います。市民としては助かります。	B:計画に登載済	歯周病検診を受診しやすい環境整備として、特定健診やがん検診など他の健診と一緒に受けられる仕組みづくりに力を入れていきたいと思っています。
154	6	基本方針間の関係		お弁当箱の絵がとても分かりやすくて良かったです。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
155	29	施策の方向性	トリプル健診	先進的で他の特定健診やガン健診の受診率向上にもつながるのではないかと思います。	B:計画に登載済	各種健診を同日に行うことで、歯周病検診だけでなく、特定健診やがん検診の受診率向上にも繋がると考えています。
156	29	施策の方向性	トリプル健診	トリプル健診はこれまでにない取り組みで期待ができると思います。	B:計画に登載済	歯周病検診を受診しやすい環境整備として、特定健診やがん検診など他の健診と一緒に受けられる仕組みづくりに力を入れていきたいと思っています。
157	6	基本方針間の関係		お弁当箱とてもおもしろいです。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
158	34、59	施策の方向性		「歯と口の健康づくり」の中でオーラルフレイルの周知啓発が必要と思われるため、環境整備・関係機関の連携強化をしてほしい。	C:今後の取組の参考とする	御意見いただいたとおり、オーラルフレイルの認知度が低いため、関係機関との連携を図り、オーラルフレイル予防の重要性を周知していきたいと思います。
159	40、41	これまでの取組、行政の取組	障害福祉サービス等事業所 歯科保健活動及び歯科健診	継続をお願いします。訪問していただいた事で、歯科を受診できた方がいます。障がいのある方が安心して受診を受けられるようになるには、時間のかかる方が多いです。仲間と一緒に経験を積む事で改善されていくと考えます。	D:その他・感想等	障害福祉サービス等事業所歯科健診歯科保健活動事業によりかかりつけ歯科医を持つことにつながるよう取組んでいきます。
160	29、34	課題、施策の方向性		フレイル対策、オーラルフレイル対策は高齢化社会を迎えるに当たり重要な問題です。とくに力を入れていただきたいと思っています。	B:計画に登載済	庁内関係各課及び関係団体等と連携してフレイル対策、オーラルフレイル対策に力を入れて取り組んでいきます。
161	—	—		とくにありません。すすめていただきたいと思っています。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
162	—	—		とてもよいと思います。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
163	—	—		ぜひ推進していただきたいと思っています。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
164	—	—		同意します。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
165	—	—		賛同致します。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
166	—	—		賛成です。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
167	—	—		賛成です。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
168	—	—		興味ある内容だと思いました。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
169	—	—		全て賛成です。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
170	—	—		良いと思います。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
171	—	—		素晴らしい計画だと思います。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
172	12～14・17～18	現状・課題・施策の方向性・指標の設定・行政の取組		フッ化物洗口をもっと進めて欲しいと思います。明らかに「ムシ歯ゼロ」を目指せますから。	B:計画に登載済	御意見いただいたとおり、集団で実施するフッ化物洗口はむし歯予防効果の高いことが明らかとなっていることから、今後は小学校を含む実施施設数の増加に向けて働きかけていきます。
173	6	基本方針間の関係		お弁当箱に例えた推進計画はとても面白い発想と思いました。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
174	29	施策の方向性		トリプル健診は画期的なとりくみと期待しています。	B:計画に登載済	歯周病検診を受診しやすい環境整備として、特定健診やがん検診など他の健診と一緒に受けられる仕組みづくりに力を入れていきたいと思っています。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パフコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
175	48	施策の方向性		入院した時は歯みがきが上手にできず、口の中が気持ち悪かった思い出があります。そういう時に歯石とかも取ってもらえたらと思います。	D:その他・感想等	御意見いただいたとおり、院内に歯科がない病院に関しては、入院患者が訪問による治療やケアが受けられる体制が整えられるよう歯科医師会等関係者と協働して働きかけていきたいと思っています。日頃からかかりつけ歯科医を持っていると入院時だけでなく、寝たきり等により介護が必要となった際にも慌てず相談できるといった観点からも、かかりつけ歯科医を持つことを推進していきます。
176	—	—	全体	同意します。進めて頂きたいです。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
177	14	行政の取組		子ども達は正しい歯の磨き方を園以外で教えていただくことはほとんどありません。模型を見ながらの指導により視覚から理解しやすく染め出しにより自分でみがき残しも確認できます。歯みがきに興味感心が高まり、歯を大切にする気持ちにつながりますので、今後も指導をお願いします。	D:その他・感想等	こども園・保育園・幼稚園に通園する3～5歳児を対象とした「歯みがき巡回指導」については、今後も内容を見直しながら実施していきたいと考えています。引き続き御協力よろしくをお願いします。
178	54	コラム	災害時（非常時）の口腔ケアについて	防災用非常持ち出し袋の中に、一応用意しています。準備の仕方を具体的にイラストや画像などで教えていただけるとわかりやすいかと思います。（歯ブラシ、液体はみがき、タオル、水など）また、ドラッグストアで歯ブラシなどを購入しますので、液体歯みがきのコーナーなどに「防災用非常持ち出し袋の中に入れておきましょう」という掲示等があると準備しやすくなるのではないかと思います。	A:計画に反映させる	「災害時に気を付けたいお口のケア」コラム欄を設け、準備しておきたい歯ブラシ等の物品を掲載するほか、様々な機会を捉え、啓発していきます。
179	29、56	施策の方向性	歯科検診	健康診断の中に、歯科検診も入れていただけると、受診率が上がると思います。	C:今後の取組の参考とする	御意見いただいたとおり、職場等で実施する健康診断に歯科健診を追加することで、受診率の向上だけでなく、自身の歯と口の健康状態の定期的な把握に繋がります。しかし、実施に向けては、歯科健診の重要性について理解を深める必要性など課題があると認識していますので、事業所や保険者等に働きかけをしていきたいと思っています。
180	29	施策の方向性	市民の取組を支える体制	重点事業とされる「歯周病検診・がん検診・特定健診を同時に受けられるトリプル健診」は、体のメンテナンスと共に歯の健康維持の機会を保つことにつながるとも良い方法と思う。一般の健康診断のメニューにも歯科検診を入れてはどうか。	C:今後の取組の参考とする	御意見いただいたとおり、職場等で実施する健康診断に歯科健診を追加することで、受診率の向上だけでなく、自身の歯と口の健康状態の定期的な把握に繋がります。しかし、実施に向けては、歯科健診の重要性について理解を深める必要性など課題があると認識していますので、事業所や保険者等に働きかけをしていきたいと思っています。
181	39、40、42、45	特徴、課題、施策の方向性、行政の取組	障がい者・高齢者歯科健診事業	高齢化社会と共に障がい者が高齢の親と一緒に暮らす人も多い。高齢の親が障がいのある子どもを治療に通院するのは困難なことから、山間地に特化している歯科検診治療車での地域訪問を、市街地でも活用し、高齢者や障がい者の歯科受診をしやすくする工夫を。	C:今後の取組の参考とする	歯科医院へ通院することが困難な方を対象とした訪問歯科診療支援事業がありますのでご相談ください。また、保護者の高齢化による通院の困難さに関しては関係機関と連携しながら環境整備に努めたいと思っています。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
182	39, 40, 42	特徴、課題、施策の方向性、行政の取組	特別な配慮が必要な人の環境整備	障がい特性を理解し、治療できる専門機関が少ない。また、高齢化した障がい者がかかりつけ歯科をもって継続的な支援を受けられる環境が必要であり、予防や保健の体制づくりから考えても、歯科医療を巻き込んだ医療的ケアが可能な施設の整備が必要。	C:今後の取組の参考とする	障がいのある人が安心して歯科受診ができることを目指して、歯科医療従事者側も障がい理解を深め、障がい者歯科登録医が増えるよう取組みます。また、高齢期になっても歯や口のことで困ることがないよう関係機関と連携しながら環境整備に努めたいと思います。
183	全体	コラム	歯と口の健康状態を進捗管理のところに	パブリックコメント概要資料を見ますと、最新の研究結果等を反映させることで・・・と書いてあるのですが、計画の中のどこの部分にも書いていないような気がします。科学者や専門家の方の最新の研究結果は知りたい人も多いと思いますので、今わかる範囲で良いので最新の研究結果を掲載してください。	A:計画に反映させる	計画のコラムの内容に最新の研究結果を盛り込んでいきます。
184	28	現状	第4章、成人期の資料（表）何でも噛んで食べることができる者の割合（男性）・男性の「何でも噛んで食べることができる者の割合」は「50～54歳」から「55～59歳」になる際に減少幅が大きくなるという特徴があります。について。	第4章、成人期の資料（表）何でも噛んで食べることができる者の割合（男性）・男性の「何でも噛んで食べることができる者の割合」は「50～54歳」から「55～59歳」になる際に減少幅が大きくなるという特徴があるとされています。しかし、もしもこの調査が令和1年における各年代別を対象にした調査結果だとしたら、「50～54歳の人々」と「55～59歳の人々」の割合に差があるのは、この年代の方々が成長する段階の公衆衛生や健康教育に何らかの違いがあったと考えるのが正しいのではないのでしょうか。身近な方の様子を見ても、55歳を境に歯が減少するとか咬合力が低下するという事実はないと思います。令和1年の54歳が令和2年（55歳）に咀嚼力が低下することを示しているのではないと感じます。私の考えは間違えているのでしょうか。ご教示いただけますと幸いです。	D:その他・感想等	お示した特徴は十分大きなサンプル数（合計で26,000以上）の統計データを用いて、その傾向を捉えたものです。また、あくまで「何でも噛んで食べることができる」と答えた方の割合であって、咬合力を調べたものではない旨をご理解いただけたらと思います。
185	10～14・17～18	現状・課題・施策の方向性・指標の設定・行政の取組	フッ化物洗口事業の拡充	昔に比べて子どものむし歯は減っていますが、いまだにほとんどの年齢で学校保健統計で最も多い病気です。また高齢者ではむし歯は近年増えています。さらに、コロナ禍もあり、経済的に貧しい家庭ではフッ化物を利用するための金銭的、時間的余裕がない状況も増えていると考えられます。そのため、小学校での取り組みを拡充してくださるのはとても有意義と考えられます。	B:計画に登載済	御意見いただいたとおり、子どものむし歯は全体的には減少傾向にあります。むし歯経験のない子どもが増加する一方で、多くのむし歯を有する子どもが一定数存在し、健康格差が生じている状況です。経済的な事情等から家庭でフッ化物を利用できない子どももいると考えられますので、小学校での取組の拡充に取り組んでまいります。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
186	34	施策の方向性	計画の特徴「健康長寿」に関して	静岡市の現状としてオーラルフレイルに対する認知度がまだ低いと思われます。いろいろな手段で周知していただけると良いですね。	C:今後の取組の参考とする	市民のオーラルフレイルの実態把握と、オーラルフレイルの知識の普及啓発を目的に令和3年度にアンケート調査を実施予定です。その調査結果をもとに、今後の取組を検討するとともに様々な機会を捉え、啓発していきます。
187	50～54	災害時における健康被害の予防・歯科保健医療提供体制の整備	災害時における健康被害の予防及び歯科保健医療提供体制の整備	災害時における健康被害の予防項目については、被災者の口腔環境の整備と歯科保健医療提供体制の整備は別問題で対応しなければなりません。物資の配給を含めて綿密な組織体勢の構築が必要と思われます。災害時の救急歯科治療は生命に影響を及ぼす可能性を十分考慮しての組織構築が必要です。	C:今後の取組の参考とする	御意見いただいたとおり、被災者の口腔内環境の整備と歯科保健医療提供体制の整備については課題を整理したうえで、より効率よく対応できるよう検討します。
188	61～69	第4章計画の推進体制	第4章計画推進体制	学童期におけるむし歯や歯肉炎の管理は行き届いており、中高生は若干数値は下がりますが、小学生以下では目標に達していると思います。また歯と口の健康週間で行われた「市内小学生へ歯ブラシとフロスの寄付」はとても好評で、今後も是非続けて欲しいと思いました。青葉公園で1日啓蒙するよりも、ずっと素晴らしい行いだと思います。	D:その他・感想等	6月4日から10日の歯と口の健康週間を機に、歯と口の健康の重要性について理解を深められるよう、今後も歯科医師会等の関係団体の協力を得ながら様々な事業を企画していきたいと思っています。
189	13	施策の方向性	第4章計画推進体制	近年子ども達に口呼吸や鼻炎等による口腔機能発達不全が多く見られ、それに伴い歯列不正や咬合異常が非常に多くなってきていると思われます。乳幼児期からの噛んで食べる習慣の減少も原因とみられるので、食事指導に対する啓蒙や補助も拡大して欲しいです。さらには歯列矯正にかかる費用の補助金を検討していただけると、子供達の為になると思います。今後とも宜しく願います。	A:計画に反映させる	御指摘のとおり、乳幼児期からの噛んで食べることの重要性を啓発していくため、乳幼児期の施策の方向性に記載の文言を下記のとおり修正します。 「 <u>口腔機能の獲得に留意し、「食」のスタートである乳幼児期に歯と口を使ってよく噛んで味わい食べる楽しみや安全に食べるために姿勢の重要性等について、知識の普及を図ります。</u> 」

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
190	8 ・ 48	施策の体系 「入院患者」 ・ 入院患者 「○特徴・ ○課題」	案の8頁および48頁入院患者について	<p>病院歯科口腔外科の勤務医です。</p> <p>入院患者において、歯科と医科がそれぞれの専門分野について理解を深め情報共有することにより、必要な患者さんが必要な口腔機能管理を受けられるような体制を整備するとの条例案、素晴らしいと感じます。</p> <p>そのことに関しての提案です。</p> <p>入院に至った原因疾患の病態によっては、退院後も中長期にわたり歯性感染由来の合併症を生ずることがあります。例えば、がんの術後経過によっては、ビスホスホネートや抗RANCL抗体などの骨吸収抑制薬が必要になる場合があります。投与開始後には顎骨壊死に至ることが少なくありませんが、投与直前になって（あるいは投与開始した後で）歯科介入をしても十分に歯性感染をコントロールできずに苦慮する場合があります。したがって、がんの手術後は普段から、かかりつけ歯科でのしっかりした口腔管理が必要と考えられます。また、心臓血管外科の手術後には多くの場合、感染性心内膜炎予防の観点から抜歯などの観血処置に際して抗菌薬の予防投与が推奨されています。それらの場合、医科の主治医とかかりつけ歯科医との間で知識と情報を共有する有用性があると考えられます。具体的にはかかりつけ歯科への逆紹介の推進やお互いの医療情報の共有が有用と考えられます。</p> <p>そこで、条例案に以下のような加筆を提案いたします</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条例案の8頁：入院患者に『退院後の病態に応じて適切にかかりつけ歯科での管理が受けられるよう、体制整備に取り組みます。』 ・条例案の48頁： ○特徴『・退院後も（感染性心内膜炎や顎骨壊死など）歯や口に関連する合併症のリスクを下げるためには歯科と医科との連携が大切です。』 ○課題『・退院後も入院の原因となった病気の状態に配慮した口腔管理をかかりつけ歯科で受けるために、環境の整備が必要です。』 	A:計画に反映させる	<p>下記のとおり計画に追記します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画案の8頁：入院患者に「<u>退院後の病態に応じて適切にかかりつけ歯科での管理が受けられるよう、体制整備に取り組みます。</u>」 ・計画案の48頁： ○特徴「<u>・退院後も（感染性心内膜炎や顎骨壊死など）歯や口に関連する合併症のリスクを下げるためには歯科・歯科・薬科の連携が大切です。</u>」 ○課題「<u>・退院後も入院の原因となった病気の状態に配慮した口腔管理をかかりつけ歯科で受けるために、環境の整備が必要です。</u>」
191	17,18,21,22	現状、課題、施策の方向性、指標の設定	「歯科専門職による歯の健康教育」について	<p>う蝕の発生機序、歯周炎の病態などが歯科関係者であっても正しく理解されていないような場面に遭遇します。例えば、「歯周病になると何で歯ぐきから血が出るの?」という患者の質問に正しく答えられない。また広く一般に「朝昼晩、食べたら歯を磨こう!」で虫歯を防げると思っている人の何と多いことか。</p>	C:今後の取組の参考とする	<p>本計画を推進し、市民の歯と口の健康ひいては健康長寿を目指すためには、歯と口に関する正しい知識を持っていただくことが重要だと認識しております。市民の方への啓発とともに、歯科関係者の資質向上にも力を入れていきたいと思えます。</p>
192	27、29、36	現状、施策の方向性、コラム	「オーラルフレイル」について	<p>廃用という表現を使うとやや刺激が強く感じられますが、理解しやすい場合もあるかもしれません。欠損放置や義歯の不使用によってそれらが助長されるということを広く啓発してほしいです。</p> <p>「入れ歯なくて食べれてるんで」が「最近、飲めなくなってきて」に移行するとは考えにくいようです。</p>	C:今後の取組の参考とする	<p>御意見のとおり、歯が抜けたまま治療せずお食事をされている方や、入れ歯を作っても合わない等の理由から使用しないで食事をされている方は、一見問題なく食べられているように見えても、堅い物が食べづらく栄養面の偏りが起きていたり、飲み込みがしづらくなっていたり、全身状態に影響している場合があると思えます。より市民の理解が得られるような表現を用いてオーラルフレイルの周知を図っていきます。</p>
193	—	—	全体	条例ができて、推進計画もやっとできてよかったとおもいます。	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
194	1.16～23	計画の趣旨、施策の方向性・指標の設定	第1章の2計画の趣旨 市民が歯科疾患の特性を理解しの箇所	「むし歯」について本当に市民はむし歯の特性を理解しているのか？計画にデータの分析、最新の科学的知見を加味して施策を展開とあるが、であればWHOが推進しているWFか集団F洗口を推進してほしい。	B:計画に登載済	生涯にわたってむし歯のない口腔内環境を作っていくためには、乳幼児のみならず、小中学校においても集団フッ化物洗口を実施することが必要だと考えております。現状、小学校における実施率は低く、中学校においては実施校がないため、「フッ化物洗口推進モデル校」を募り、関係者や保護者の理解を深めるほか、実施にあたっての課題を抽出・共有することにより実施を拡大していきます。
195	29	施策の方向性	施策の体系の箇所	児童以下のデータは多数あるが、それ以降のデータは少ない、今後市民のお口の健康を向上させていくデータを構築していくためには、医科の成人健診・特定検診の様な、成人健診に歯科検診を加える等のような毎年の歯科検診を義務付ける必要がある。	C:今後の取組の参考とする	御指摘のとおり、高校卒業後は法律で義務づけられている歯科健診がないため、データが少ない現状です。40歳以上の市民を対象とした歯周病検診は実施していますが、高校卒業～39歳までの方に対する施策が少ないため、まずはその年代に対する働きかけを検討していきます。
196	13、14、17、18	施策の方向性・行政の取組		静岡市の2つの衛生士校に公衆衛生分野の授業をされている。 神奈川歯科大荒川浩久教授、東京歯科大学真木吉信教授のお二人と今回の推進会議副会長の安藤雄一先生、又F洗口DVD作成に関与された医科歯科大相田潤先生。静岡市には国のF洗推進に深く関与されている方々がいらっしゃるなのでこの方たちを是非F洗推進にご協力いただいでください。是非集団F洗の早期実現を目指してください	D:その他・感想等	集団フッ化物洗口の拡充に向けて関係者の理解を得られるよう取り組んでいきます。
197	29	施策の方向性	高校卒業からの歯の受診について	高校卒業してからは大学や専門学校または就職先で歯に対する意識は個々で違いますので、施作の報告性だけでは目標数値には達成できないと思います。達成するためには少しでも気づきが必要になると思いますので、ポスターや健康診断でのチラシ等で歯への関心を少しでも上げることが大切だと思います。たとえば、歯をきれいにすれば、病気のリスクが下がる事や歯がきれいなことで外見もよく見えるなどのイメージUPになることです。	C:今後の取組の参考とする	法律で義務づけられている歯科健診は高校までとなっており、高校卒業後は、自主的に受診する必要がありますが、1年に1回以上歯科健診を受けている成人期の割合は他の年齢を比較すると低い状況です。御意見のとおり健康診断で自身の健康意識が高まっている機会等を捉え、歯と口の健康の重要性について啓発をしていきます。
198	9～14	乳幼児期	乳児期の取り組みについて	子供の歯磨きについての対応策については良いと思いますが、親が気をつけて虫歯に回避するように歯磨きやフッ素対応で虫歯になる可能性が減少していますが、より減少させるためには親の両親への理解が必要になるかと思います。昔と歯に対する見解が変わっていることなどを理解してもらうようにすることも大切だと思いますので、親の両親へのアプローチも施策に取り込むことがよいかと思います。	C:今後の取組の参考とする	日頃、歯科保健事業を運営している中で、保護者の全体的な歯と口に関する意識は向上しているように感じております。今後より一層理解を深められるよう保護者だけでなく、祖父母世代の方へも子どもの歯と口の健康のみならず、自身の歯と口の健康も振り返る取組みに繋がるような「世代をまたぐ周知」を検討していきます。

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パフコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
199	27、29、30、34	現状・指標の設定	高齢者の取り組み	8020運動は歯に対して少しでも知見がある方は知っていますが、よりブレイクダウンして70**や60**なども取り入れてより将来というより身近な目標を設定することがよいかとおもいます。最近では痴呆症の原因が虫歯や歯周病一因になっているとも言われているかと騒がれています。また、噛むことができなくなり食べることが億劫になりますので、歯を定期的に健診することが健康でいることになりますので、今後の5年ぐらいを目標に2年に1回は無料検診を実施するなど検討してはどうでしょうか・・・。	B:計画に登載済	8020のほかに「6024（ロクマルニイヨン）」という目標も掲げています。健診に関しては、現在、静岡市では、40歳以上の市民を対象に年に1回最大600円で受診できる歯周病検診を行っています。歯周病検診という名称ですが、歯周病の検査だけでなく、むし歯の有無や噛み合わせ等のチェックも行っており、70歳以上の方は無料としています。
200	59	4 持続可能な歯と口の健康づくりの推進のための環境整備・関係機関の連携強化（2）関係機関との連携強化	関係機関との連携強化	がん患者・糖尿病患者療養における医科歯科連携を入れてはどうか	A:計画に反映させる	「基本方針4 持続可能な歯と口の健康づくりの推進のための環境整備・関係機関の連携強化」の「（2）関係機関との連携強化」「施策の方向性」に下記の文言を追記します。 「・糖尿病をはじめとする生活習慣病の患者さんが必要な治療や保健指導が受けられるよう関係機関と連携を取ることのできる体制を整備します。」
201	—	—	—	全体としてよくまとめられた歯科保健計画である	D:その他・感想等	御意見ありがとうございました。
202	61・62	市民の取組	—	昨今のコロナ禍では「感染予防はまず自身で取り組むことが必要である」ということが見えた。同じことが歯科口腔保健でも言えるのではないか。すなわち、「自身の健康はその背景となる生活習慣を含め、自身で気づき、実践しなければいけない」ということ。いくらよい施策も、市民に伝わらなければいけない。「この計画は市民のものである」旨をどこかに記載できたらよいのではないかと思う。	A:計画に反映させる	第4章の「市民の取組」に下記のとおり記載します。 「歯と口の健康づくりは市民の皆さんご自身の取組で決まります。」
203	63	市民を支える関係者の取組	学童期・思春期（p17）	学校歯科医の役割を具体的に記載した方がよいのではないか。	A:計画に反映させる	学校歯科医の役割（歯科健診、歯科保健指導など）を、第4章の「市民を支える関係者の取組」に記載します。
204	34	施策の方向性	高齢期（p34）	フッ化物利用の推進について記載してはどうか。	A:計画に反映させる	御意見いただいたとおり、フッ化物利用の記載がない（指標に「40歳以上でフッ化物を利用している者の割合の増加（再掲）」記載のみ）ため、根面むし歯の予防と関連づけて、フッ化物利用の推進について下記のとおり記載します。 ・施策の方向性「 <u>根面むし歯の予防に効果的であるフッ化物の利用を推進します。</u> 」

パブリックコメントの意見一覧

No.	掲載ページ (パブコメ用冊子)	項目・訂正箇所等	御意見のタイトル	御意見の内容	対応区分	回答および対応（市の考え方）
205	40	施策の方向性	障がい児・者 (p40)	障害者歯科保健センターと地域の歯科診療所との役割分担を明記してはどうか。	A:計画に反映させる	地域の歯科診療所との連携の重要性を認識しておりますので、施策の方向性の文言を下記のとおり修正します。 (修正前)「障がい児・者が、地域で安心して歯科診療を受けることができるよう、環境の整備を図るとともに」 (修正後)「障がい児・者が、地域で安心して歯科診療を受けることができるよう、 <u>関係機関と連携し、環境の整備を図るとともに</u> 」
206	48	入院患者「○特徴」	医科歯科連携 (p48)	がんのみならず、他の疾患もその特性を踏まえて記載してはどうか。病院歯科との連携や役割なども含めて。	A:計画に反映させる	「基本方針2(4)入院患者」の「特徴」を下記のとおり修正します。 (修正前)「がんをはじめとする全身麻酔下での手術を受ける患者さんに対し」 (修正後)「がん、 <u>心疾患、脳血管疾患などの全身麻酔下での手術を受ける患者さんに対し</u> 」
207	63	市民を支える関係者の取組	関係機関との連携強化 (p59)	歯科医師会の役割を具体的に明記してはどうか。	A:計画に反映させる	歯科医師会と協議しながら、第4章の「市民を支える関係者の取組」に明記する方向で進めます。